

令和5年度(2023年度)事業計画書 (2023年4月1日～2024年3月31日)

I. 基本方針

国際情勢においては紛争の長期化や、感染症、先行きが見通せない経済、日々目まぐるしく変化しています。そんな中でも、2022年度は世界各地でスポーツが活気を取り戻し、日本初となった世界バドミントン大会の開催、惜しまれながら引退発表された国枝慎吾選手のテニスウィンブルドン選手権で生涯ゴールデンスラムの偉業達成、そして、サッカーワールドカップ日本代表の活躍、感動を生むスポーツのすばらしさを再確認できました。

当財団は、2022年度10月より財団名を「新潟県スポーツ振興米山稔財団」に改称し、新潟県内のインドアスポーツ競技を中心に全てのスポーツ競技の振興に関する諸般の事業の推進を図り、普及・振興・競技力の向上に寄与することを目的として、対象を広げて新たに取り組んで参ります。特に将来を見据えたジュニア選手の育成と各競技全体の普及につながる事業等への助成を積極的に進めるとともに、今後ともより健全な運営に努め新潟県スポーツ振興の礎になるよう注力して参ります。

II. 2023年度の事業計画

2023年度はコロナ禍を脱却し、市況の回復を願うとともに、運用している保有財産利息と高配当となっている株式配当金をもって、新潟県内のインドアスポーツを中心に幅広くスポーツ全般に対象を広げた助成事業を行う収支計画と致しました。

当財団では、収支相償の法令に従い下記金額を事業計画とし、選考はより効果的に活用されるよう最善の注意を払ってまいります。

事業目的別の事業計画は次の通りです。収支予算は別紙をご参照ください。

1. 助成に関する事業

3,465万円（前年予算対比127.5%）を計上いたします。

2. 表彰に関する事業

表彰規程に基づき個人または団体を選定し、表彰する予定です。

III. 助成事業及び表彰事業の募集

助成金及び表彰の募集にあたりましては、前年に引き続きホームページで情報を公開し一層わかりやすい内容に努めるとともに、新潟県内インドアスポーツ競技団体を中心に全てのスポーツ競技団体へ応募用紙を送付いたします。

今後ともより健全な運営に努め、新潟県スポーツ振興の礎になるように注力して参ります。